

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 人としてその人らしく生きる為の理念を原点として思い 理念に添ったケアに職員一同努めている。 | 具体的で分かりやすい理念がリビングや玄関に明示され、職員に浸透するよう毎月確認も行われています。年間の事業計画も理念に基づいた計画となっており、ご利用者への尊厳を重視した思いが伺えます。 | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域等の行事に積極的に参加し、ホーム全体として行事についても参加して頂けるよう努めている。火災や地震等の災害時もお互い協力できるよう努めている。 | 町会・自治会へ参加し、年2回の地域への回覧板の回覧や、地域の賽の神祭や夏祭りへの参加も行われています。また散歩時や外出時等は近隣の方と挨拶を交し合ったり、積極的に交流が図られています。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域に出ることにより認知症の方と直接、係りを持って頂き又定期的に地域宛に回覧板を発行している。地域の行事に率先して参加している。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 外部評価の結果を報告し第三者としての意見を頂き見直している日頃の取り組みについても報告し意見を頂いている。 | ご利用者やご利用者家族、自治会長等地域の代表、民生委員や市職員が参加して情報交換や意見交換の場となっています。評価についても報告し、改善に役立てられています。 | |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議に出席して頂き定期的な情報の共有、意見交換をしている。突発的なことにも電話での相談、市の窓口で相談している。 | 市担当窓口とは定期的に連絡を取り合い、相談したり助言を受けたりと連携しています。また月一回、市主催の介護ネットワークへも参加し情報共有を行っています。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員一同身体拘束ゼロに努めている。職員会議等で、定期的に振り返り話し合いの場を設けている。 | 複合施設全体での研修が行われている他、理解を深めるためホーム独自でも研修を行っています。 | |
| 7 | (5-2) | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部研修の参加と職場内での定期的な話し合いの場を設けている。 | 代表者が外部研修へ参加し、ホーム内でフィードバック研修を行っています。また虐待がないよう日常的に職員同士でご利用者を敬う気持ちを確認し合い、防止に努めています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 研修会に参加し理解し理解を深め必要時は、市役所へ相談しようと思っている。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入所時、面会時、サービス担当者会議等利用し、説明を行っている。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 時々に応じて意見や不満等聞き、家族様には、面会時お話しできる場を設けて、意見を頂いて伺い職員会議に提示し解決していくようにしている。 | 運営推進会議にはご利用者家族も参加していただいて意見を頂いており、面会時に時間を設けて意見や要望を確認しています。意見や要望は速やかにサービス担当者会議に諮られ、実践されています。 | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 日々申し送り、会議等を機会にしている。 | 月一回の職員会議の場で職員の意見の吸上げが行われています。問題点や改善点はその都度管理者へ上がる仕組みづくりができており、また改善点は速やかに改善が実行されています。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 現場を第一に考え、個人のやる気を持たせる為、仕事の分担を明確にして職員の業務や悩みを受け入れている。リフレッシュ休暇を設け、ストレス解消に努めている。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修には、積極的に受けるようにしている。働きながらのスキルアップにも取り組んでいる。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 行政と共に地域の同業者と交流する機会を持てるように努めている。又法人内の勉強会や意見交換の場も定期的につつまようしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|-------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前面談で、必ず本人に合って本人の思いに向き合い聞く機会を作っている。家族様ケアマネジャーからの情報も得ている。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 事前面談で、必ず見学に来て頂き、最初にまず、感じて頂いて納得行くまで、よく聞く機会を作り努めている。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 可能な限り本人の生活、行動から判断して家族様と相談をし対応している。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 人生の先輩として尊敬し共に支え合い調理、漬物方法を教わりながら支えあう関係としている。畑も教わりながら作っている。 | | |
| 19 | (7-2) | 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時には、ゆっくりとして頂けるようにお茶を飲みながら様子など情報の共有し、共に支えあうように支援している。 | 面会時には時間を取って情報交換を行い意見・要望を確認しています。また、定期的にご家族に参加していただくイベントを企画・実行しており、共にご利用者を支える関係づくりをしています。 | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 本人の馴染みの場所へ行事計画として思い出の地を訪問し喜んで頂いている。知人、友人の訪問を継続できるように努めている。 | ご利用者にとって馴染みの職員が継続して支えられるよう配置されています。ご利用者の誕生月には本人の希望する場所へ出かけたり、希望する人に会いに行くなど、外食を兼ねた外出が行なわれています。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 良い係わりが、ある時は、そっと見守り、他者との意見の食い違いがあった時は、よく説明し関係が悪くならないように努めている。役割を持つことで、利用者同士助け合い協力し仲良く過ごせるよう支援している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|-------|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 以前利用されていたご家族が、ボランティアとして未長い交流を大事にしている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 毎日の係わりの中で、把握に努めている。ご家族様を通して情報を得て協力して頂いていることもある。サービス担当者会議で、本人の思いも聞き入れている。 | サービス担当者が日々一人一人の希望や要望を聞き取り、本人がやりたいことを優先して行ってもらっています。また、ご家族からも聞き取りを重ね、相談が行われています。 | |
| 24 | (9-2) | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所時に聞いた生活歴、歩まれてきた人生の情報からサービスの経過から担当者会議の中からプランとして計画している。 | 入居前の暮らしぶりについてはご本人やご家族等から情報を得ています。ご家族との面談に時間をかけ、本人の価値観の把握に努めていますが、せっかく収集した情報の記録が十分と言える状態ではないと思われます。 | 聞き取った情報は、本人の職歴やエピソード、細かな点に至るまで記録し、サービスに生かせるよう期待します。 |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日頃の状態を見ながらカンファレンスして対応方法を考えていくようにしている。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 状態の変化時、介護保険の更新時、サービス担当者会議にて本人、家族、関係者と話し合いの場を設け定期的に6ヶ月ごとの見直し、3ヶ月ごとの経過観察 月1回のモニタリングにて経過観察をしている。 | ご利用者、ご家族の意向に沿った介護計画が作成されており、また経過観察中に変化があった場合には即アセスメントを行い、計画も変更されています。 | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 生活記録、毎日の申し送り、職員の経験、気づき、アイデアを取り入れて介護計画に活かしている。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人、家族の要望に応じ柔軟な対応に努めている。複合施設の一員としてデイサービスとの交流やボランティアの交流も利用している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|--------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域との係わりを大事に運営推進会議では、民生委員、地域代表との情報の収集近所づきあい協力体制のお願いや回覧板にて認知、理解して頂けるよう努めている。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 今までのかかりつけ医となっている。受診や通院は、基本的には家族同行の受診になっているが、緊急時は、職員が、代行するようにしている。ホームの様子、経過については、手紙にて情報を伝達している。 | 原則入居前のかかりつけ医となっています。受診後はご家族から状況把握したり、ホームから医師に確認したいことは手紙をやりとりするなど工夫されています。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 医療連携加算体制とし複合施設の職員である看護師から週1回の健康チェック緊急時は、すぐにかけつけ指示を頂いている。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 医療機関との情報交換、退院後の過ごし方など相談し努めている。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化や終末期の過ごし方については、家族、職員で機会を見て話し合いの場を設けている。受診時に主治医から指導を受け、入院されてから1ヶ月後に死亡となる事例がある。 | ご本人やご家族の意向により、重度化した場合や終末期においても受け入れています。また、医療機関や複合施設の看護師と連携し、看取りも行っていく方針です。 | |
| 34 | (12-2) | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 複合施設として防災委員の計画の元に定期的訓練計画に添って避難訓練、救命講習会等実施している。 | 昼間は隣接する複合施設の看護師と連携し対応しています。また、夜間想定訓練を実施し、救急・事故発生時の連絡網も整備されています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 複合施設として防災委員の計画の元に夜間想定掛け付け訓練や様々な状況に対して定期的に訓練を実施している。自警消防団、地域の方との合同避難訓練は春に1回実施している。近隣の方には、協力をお願いとし挨拶しながらプリントを配り協力体制を築けるように努めている。 | 事業所・複合施設で行う防災訓練の他、毎年自警消防団が行う地域の防災訓練に参加しています。防災訓練においては全職員が参加できるよう勤務調整を行なっています。 | 非常時の飲料水は確保されていますが、非常用食料の備蓄が行われていませんでした。今後改善されるよう期待します。 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 常に人生の先輩としての係わりを大切にありがたい感謝の言葉かけに努め個人情報の取り扱いには、注意深く秘密保持に努めている。 | 言葉づかい、声かけにおいては常に職員同士注意し、本人の尊厳やプライバシーを傷つけないようにしています。また、本人にできる範囲のことで役割を持ってもらい、生きがいを持つ工夫がされています。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 入居者の自立を第一に気持ちを尊重して考えて頂く姿勢で接している。本人の思いを聞き実現できるようにしている。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 今まで歩んできた人生を尊重してホームの中で その人らしい生活、やりがいのある生活、皆さんが主役になれるように喜びあえる笑顔の毎日であるように支援をしている。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 美容については、家族が美容院へ付き添う方もおられる。主張理容を利用する場合もある。外出時は、洋服や化粧品にも気を配り普段でもおしゃれの気持ちを大事に努めている。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食べたい献立を聞き、取り入れながら食事の準備から片付けまでそれぞれ楽しみながら出来る様に支援をしている。畑を利用し自分で作り、世話をし、収穫の喜びとなるよう努めている。 | 職員とご利用者がスーパーのチラシを見たりしながら、週2回献立を決めています。職員も同じテーブルで食事を取り、会話しながら楽しく食事されています。また、畑で収穫した野菜を料理し、作る喜び、食べる喜びが感じられるようにしています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 管理栄養士の定期的な栄養指導の実施により努めている。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアに努めている。ご家族希望により口臭予防として歯磨き後水歯みがきを実施されている方もいる。 | | |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄パターンを把握しその方の様子、サインを見逃さず気づきを大事に気分を損ねないような一部介助をして気持ちよくできるように支援している。 | 二室に一つのトイレがあり、他のご利用者を待つことなく利用できています。また、できるだけおむつは使用しないよう努め、一人ひとりの習慣に合わせて声かけし、自立した排泄ができるよう支援しています。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘は、薬に頼らず飲み物の工夫、食べ物の工夫、運動を取り入れ自然に排便できるように支援している。 | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴は、毎日入浴を基本として本人の希望を考慮して時間も好みに合わせて自由にしている。 | 毎日入浴を基本とし、ご利用者の好きな時間に入浴が行えるよう支援しています。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中の活動を促し、安眠できるようにしている。寝付けない時は、いっしょに添い寝やしばらく付き添いしている。体調を考慮して休息が、取れるような支援をしている。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個人ファイルに処方箋を整理し確認している。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者の経験や生活歴に対して得意な分野を見極め仕事を頼み、感謝の言葉を必ず伝え、喜びある日々になるよう取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 散歩は、日常的に出かけるよう心がけている。近所の方とのふれあいを大事に近隣の散歩には、積極的に取り組んでいる年間行事計画として計画的に外出支援している。今年度は、誕生日に希望を叶える計画をし職員と1対1にて外出を楽しまれています。 | 天気を見ながらできるだけ毎日散歩に出かけるように心がけられています。月に一回は行事を計画し、ドライブや地域行事への参加が行われています。また年二回、お弁当を持って出かけています。 | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 入所時にこづかい銭として家族よりお預かりし、外出時や自分の必要な買い物として個人的に自ら購入するよう支援している。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 家族 知人からの電話を繋ぎ、取次ぎをしている。手紙についても取次ぎ個人の気持ちに対応している。返事を出して頂くように支援している。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の目線を考えて空間づくりを心がけている 家族様と思い出の写真を飾りいつもいっしょにいるという安心感を持って頂いている。 | 施設全体が天井が吹き抜けのためとても広く感じられ、また窓からの採光が工夫されており明るく感じられます。リビングにはご利用者が作ったカレンダーや行事を行った際のご家族等との写真が飾られ、家庭的な雰囲気を作られています。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 利用者同士、交流の場を互いに部屋にて過ごして頂けるような工夫と共用スペースの中で個人の落ち着ける場所が、個々に決まっている。自由にそして押し付けていない。 | | |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入所時なじみな物を取り入れて頂くように家族にお願いしている。その他は、行事の時に本人好みのプレゼントを飾って頂いたりご家族との写真や思い出の品を取り入れている。 | 室内は木の温もりが感じられ、家具は全て入居者の持ち込みです。ベッドや家具の配置は入居者それぞれの好みとなっており、思い思いの写真や置物が飾られています。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 自立支援にむけてアセスメントから見極め活気のある自立した生活が、送れるようにしている。 | | |